

GPA の算出方法と活用方法について

- functional Grade Point Average 方式に基づき、履修登録した科目の成績評価に対して GP(Grade Point)を付与し、単位数当たりの平均値を GPA(Grade Point Average)として表記する。

- 成績評価に付与する GP は次のとおり算出する。

算出方法 $(100 \text{ 点満点の素点} - 55) \div 10 = \text{GP}$

ただし、 $\text{GP} < 0.5$ は $\text{GP}=0.0$ とする。

また、成績評価において素点がない認定科目については GP を付与せず、GPA 対象外とする。

失格となった科目は、GP「0」を付与する。

再試験合格で「可」の評価を得た場合は、GP「0.5」を付与する。

判定	成績評価		GP
合格	秀	90 ～ 100点	3.5～4.5
	優	80 ～ 89点	2.5～3.4
	良	70 ～ 79点	1.5～2.4
	可	60 ～ 69点	0.5～1.4
不合格	不可	0 ～ 59点	0

- GPA は次のとおり算出する。

$\text{GPA} = (\text{履修科目の GP} \times \text{単位数}) \text{の総和} \div (\text{全履修科目の総単位数})$

GPA は、小数点以下第 3 位を四捨五入する。

(例)

科目名	単位数	成績評価	GP	GP×単位数
日本語の基礎	2	92	3.7	3.7×2
英会話 I	1	87	3.2	3.2×1
コンピュータ基礎	2	61	0.6	0.6×2
Webデザイン基礎	1	70	1.5	1.5×1
言語表現	2	50	0	0×2
合 計	8	—	—	13.3

$13.3 \div 8 = 1.6625 \Rightarrow \text{GPA は、1.66 となる。}$

- GPA は進級判定のほか、学内における推薦者選考等において活用する。

また、教員間もしくは授業科目間の成績評価基準の平準化に用いる。